



社団法人

日本スポーツコミュニケーション協会

## PRESS RELEASE

2017年2月1日

報道関係者各位

一般社団法人日本スポーツコミュニケーション協会

代表理事 奥島康志

---

日本スポーツコミュニケーション協会は、2017年度の大会や練習会のアドバイザーとして、プロトライアスリート山下陽裕選手（所属：かとすい）とのアドバイザー契約を締結しました。

---

一般社団法人日本スポーツコミュニケーション協会（本社 東京、代表 奥島康志。以下JSCA）は、2017年1月吉日、プロトライアスリートで現在も日本代表を目指して日々大会出場やコーチ業行っている現役の山下陽裕選手（所属：かとすい）とのアドバイザー契約を締結したことを報告します。

契約は2017年2月からで、2017年度のJSCA主催のオープンウォータースイミングレースやアクアスロンレース、スイムやランの練習会で山下陽裕選手がアドバイザーを務めます。

JSCAは五輪公式種目である「オープンウォータースイミング」の普及と、「スポーツを通じた世代間を超えたコミュニケーションに貢献する。」をスローガンに掲げ、スポーツの持つ感動の提供とともにスポーツを通じて健康な日々を送ることで、日本国民の心を動かし、強い絆をつくり、そして、その感動を一人でも多くの人々と分かち合っていくことを目標に活動をしています。

オープンウォータースイミングは、2008年の北京オリンピックより正式種目となった事で年々競技者も増えてきております。また、トライアスロンが世界的に人気スポーツとして普及しており、日本国内でもこれまでよりさらに海で泳ぐ機会が増えて参りました。さらにJSCAではアクアスロン競技の大会も行う事で、ラン&スイムを競技の切磋琢磨できる場を作る事に尽力しております。

JSCAでは、今後、山下陽裕選手と共にまだまだマイナースポーツであるオープンウォータ

ースイミングやアクアスロン競技始めとしたマリンスポーツ競技の振興に努めるとともに、トレーニングで指導する事で競技者のレベルアップを図り、そして何より海での競技やトレーニング中の事故を未然に防ぐようアドバイスや具体的な指導を行って参ります。

さらに山下選手は2016年4月にプロに転向し、2020年の東京オリンピックのトライアスロン競技の出場を目指して日夜トレーニングに励んでおります。世界を目指す選手として、JSCAでも応援して参ります。

その他にもJSCAではスポーツ振興の領域で、マラソン大会、トレイルラン大会、などを開催し、日本のスポーツ愛好家や、これからスポーツに取り組みたい人々達に大会やイベントの開催を通じて、元気や健康な生活のきっかけをお届けする様々な活動を行っています。引き続き各種スポーツの競技団体、各種スポーツ大会への支援を通じて、継続的にスポーツ振興に貢献して参ります。

#### 【山下陽裕さんコメント】

はじめまして。山下陽裕です。このような形でたくさんのスポーツ愛好家の方々にお会いできる機会をいただき、とても幸せです。オープンウォータースイミングやトライアスロンの楽しさを少しでも多くの方に伝えていけるよう尽力いたします。

また、これらのスポーツは自然環境下で実施される特性上、常に危険と隣り合わせなのも事実です。参加者全員が楽しめるよう安全に対する啓蒙活動もしっかり行います。それでは、楽しくスポーツしましょう！

かとういトライアスロンスクール代表  
プロトライアスリート 山下陽裕



(山下陽裕さん)

#### プロフィール

氏名	山下陽裕 (やました ようすけ)
プロフィール	<ul style="list-style-type: none"><li>■所属：かとうい (かとういトライアスロンスクール代表)</li><li>■出身：京都府舞鶴市</li><li>■経緯：幼少期に姉兄の影響で水泳を始める。高校は強豪、京都外大西高等学校へ進学し競技に打ち込んだ。立教大学進学の際、山本良介選手の影響もありトライアスロンに転向。</li></ul> 2016年4月よりプロトライアスリートに転向し2020年東京オリンピック、2024年オリンピックを目指し活動している。「楽に速く」をテーマにお客様ひとりひとりにあった指導を展開。水泳に対する苦手意識改善や伸び悩みの解消のお手伝いができるように活動中。

<p>■戦績：</p> <p>2009年～2011年</p> <p>全国総合体育大会水泳競技大会 1500m自由形出場</p>	
<p>○2013年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3回U23日本トライアスロン選手権 4位</li> <li>● 第19回日本トライアスロン選手権 45位</li> </ul> <p>○2014年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ITUアジアカップ蒲郡大会 7位</li> <li>● ITUアジアカップ村上大会 6位</li> <li>● 第69回長崎がんばらんば国体 6位</li> <li>● 第20回日本トライアスロン選手権 16位</li> </ul>	<p>○2015年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第21回日本トライアスロン選手権 29位</li> </ul> <p>○2016年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関東トライアスロン選手権 4位</li> <li>● ハワイトライアスロン in 湯梨浜大会 2位</li> <li>● NTT ASTC トライアスロン アジアカップ蒲郡 35位</li> <li>● NTT ASTC トライアスロン アジアカップ大阪 43位</li> <li>● 日本U23 トライアスロン選手権 15位</li> <li>● NTT ASTC トライアスロン アジアカップ村上 42位</li> <li>● 日本トライアスロン選手権 30位</li> </ul>

【「かとすい」の概要】

“泳ぐ楽しさをもっとあなたに”というコンセプトのウェブメディア「かとすい」はウォータースポーツを通じて、“水”と遊ぶライフスタイルの提案をしております。また、トライアスロンスクールも開校中です。

ウェブサイト：<http://katoswimclub.jp/>

【一般社団法人日本スポーツコミュニケーション協会の概要】

日本スポーツコミュニケーション協会では、「スポーツを通じて人々の生活と健康を支援する」を信念として、日本国内でもスポーツイベント、スポーツ大会の主催数NO.1を目指す協会です。

(<http://japan-sca.or.jp>) 2013年に設立し、2016年末までに約30大会主催しています。地方自治体や企業とも積極的に協力体制を結んでおり、国内スポーツイベント会社の中でも最大級の大会開催を実施する予定です。

会社名：一般社団法人日本スポーツコミュニケーション協会

代表者：代表理事 奥島康志 所在地：東京都千代田区飯田橋 1-9-5 天野ビル 3階

設立：2013年10月18日

電話：03-5212-8981 FAX：03-3556-9988

URL：<http://japan-sca.or.jp/>

【本件お問い合わせ先】

一般社団法人 日本スポーツコミュニケーション協会

担当：倉田 メールアドレス：[info@japan-sca.or.jp](mailto:info@japan-sca.or.jp)

以上